



# あらや衆報

## No. 100 平成15年1月1日

発行・新屋振興会 会長高橋昌一  
編集・新屋振興会広報部  
印刷・株式会社JAプリントあきた

### 第100号発行記念号

- 2~6 第100号発行記念特集
- 7 国・県・市への要望事項に対する回答
- 8 敬老の日に感謝  
／生活の中に生涯スポーツを  
ゴミ0フォーラム開催
- 9 栗田神社の由来
- 10 新屋地区自主防災協議会活動報告
- 12 あらや町の行事予定表

第1号 ARAYASHUHO 新屋衆報 昭和31年5月25日 (2)

**振興会の「現況」**

かねて当町のバス道路の幹線は全町民の協力援助により舗装工事をほどこし都市としての面目を改めて来ましたが、御案内の通り、これには地元寄附金がついて居ります。その内訳を申し上げますと

- 一、県道(川新-黒丸間) 寄附予定額一六六、六六七円、すでに納入済額一三六、八二二円(約八割二分)
- 二、市道(大島清瀬-上の地藏堂) 寄附予定額一三六、二四九円、すでに納入済額一七二、五四〇(約八割)今一息のふんばりです。早くこれを納めて次の所を整頓致し使いたいものです。
- 一、国道から支所へ上る道路、下装町の残った所の舗装
- 二、地藏堂からバス終点までの舗装整備
- 三、駅を中心とした県道の舗装整備
- 四、雁町の湖漕工事
- 五、湖山の県道の湖漕工事
- 六、勝平町、埜町、北新南新、岡町其他の舗装
- 七、金町の排水測定の整備等

が考慮せねばならないのですが、これは一歩一歩建設を扱すべきです。

三、雄物新橋の件  
これは昨年六月の大水で六十余間を流失したため非常な不便を感じて居り、ことに学童の通学には困難があります。

この問題については連急に役員会を開き地元出身の県市議員を通じて関係当局に陳情し建設費では之を了とし目下大蔵省と交渉中とのこと。

尚今後共一日も早く永久橋の架設せられる様運動する予定です。

**支所と国道  
間市道舗装**

新屋支所前からの国道に至る二百三十三メートルの市道アスファルト舗装工事は地元の強い要望もあって、愈々近々市の手で着工される運びとなった。予算は約百五十万円で大部分を市で賄ない、地元では若干負担することになっている。

**日新中学  
槌音高く急ピツチ**

予算千九百萬十月完工の運び

日新中学校が本年二月火災にあつてから四ヶ月余になるが、現在までの工事の状況、寄附金の集まりなど、どの程度に推移しているか、父兄や一般町民が強い関心を寄せているので中間報告的に学校側の話を聞いて見た。

**短歌**

八島井三

胸病みし廿五世和向も通ひたる  
山陰の径を吾も法事に行く  
宵独り須のふたを幾度か  
あけて緑茶の濃きに見入れり

いくつかの石をめぐりて露の葉が  
動くそよげり小きもみな  
松の花物ひねもすかりて  
厚石のたまりし水にみな  
浮けりけり

**二百廿萬円見込む**

日新中学復旧資金として現下五十万ほど見込まれ、はらなれたら多くの寄附金が必要である。寄附金は、日新中学を巡る各町民の協力が、是れを多く含む。

**泥でうずまる下水**

新屋の下水はチヨツ雨でもすぐはららんの引けたあとに道路の裏など掃き立てたら、スプで下水の泥が一目一尺ほどある。表町五

**川柳**

大沢南泥

嗚ひ足らぬ 顔給盆の  
コッパン  
今月も やはり一枚 宝くじ  
トロッコの 車輪ニコソンの  
ポデービル  
飾らいて 来た手が延びる  
コッパン  
企らみの ありさうな酒は  
飲いられる

**夏委衛生の一翼担う**

薬品器材も婦人会の手  
新屋婦人会では新生活運動 噴霧器その他器材はすのの一つとして支所衛生係 婦人会で購入、毎日に指導の下に蚊や蠅の撲滅にて町内各家庭の台所、指道の下に蚊や蠅の撲滅にて町内各家庭の台所、指道のり出している。殺虫剤、下水道、農捨場などに

**夏委衛生の一翼担う**

薬品器材も婦人会の手  
新屋婦人会では新生活運動 噴霧器その他器材はすのの一つとして支所衛生係 婦人会で購入、毎日に指導の下に蚊や蠅の撲滅にて町内各家庭の台所、指道のり出している。殺虫剤、下水道、農捨場などに

**足もとを固めよう**

私たちが生まれ育った郷土は、肉体のふるさとであると同時に、その人の幼い魂が育てられた心のふるさとであります。ふるさとの追憶にふけて居るあいだに平成十五年の新しい年があげました。

**新屋のみなさん**  
新年おめでとうございます

新しい春へのひそかな期待をもちながらも、相変らずのきびしい内外諸状況の中で、新しい年の新しい針路を求めて進まなければならないようでありませぬ。

私たちにとっていま一番大切なことは、お互いにいま一度自分の足元、家庭の足元、地域の足元をしっかりとみつけ直し、固めなければなりません。

市民の一人として、また新屋衆としてこの両面から明日を切り拓く努力を続けてまいりたいと決意を新たに致す所存であります。

『あらや衆報』が昭和三十一年五月二十五日に創刊号が発行されてから、一〇〇号となり、四十七年の歳月が過ぎ去りました。

その間いろいろの出来ごとがありました。故郷新屋は、明るさを失わず歩んでまいりました。町民の皆様の温かい支えによるものと深く感謝いたしております。

今年も地区選出議員団ならびに振興会の役員、関係諸団体、行政ご当局、町民の皆様と相協力いたしまして、地域の環境整備や抱えております諸問題・課題の解決に努力するつもりであります。今年も手をとりあって頑張りましょう。

あらや衆報第1号より 昭和31年5月

あらや衆報第2号より 昭和31年6月

**足もとを固めよう**

私たちが生まれ育った郷土は、肉体のふるさとであると同時に、その人の幼い魂が育てられた心のふるさとであります。ふるさとの追憶にふけて居るあいだに平成十五年の新しい年があげました。

**新屋のみなさん**  
新年おめでとうございます

新しい春へのひそかな期待をもちながらも、相変らずのきびしい内外諸状況の中で、新しい年の新しい針路を求めて進まなければならないようでありませぬ。

私たちにとっていま一番大切なことは、お互いにいま一度自分の足元、家庭の足元、地域の足元をしっかりとみつけ直し、固めなければなりません。

市民の一人として、また新屋衆としてこの両面から明日を切り拓く努力を続けてまいりたいと決意を新たに致す所存であります。

『あらや衆報』が昭和三十一年五月二十五日に創刊号が発行されてから、一〇〇号となり、四十七年の歳月が過ぎ去りました。

その間いろいろの出来ごとがありました。故郷新屋は、明るさを失わず歩んでまいりました。町民の皆様の温かい支えによるものと深く感謝いたしております。

今年も地区選出議員団ならびに振興会の役員、関係諸団体、行政ご当局、町民の皆様と相協力いたしまして、地域の環境整備や抱えております諸問題・課題の解決に努力するつもりであります。今年も手をとりあって頑張りましょう。



新屋振興会会長 高橋昌一



### 更なる発展を!! 新屋振興会相談役 穂積 惇

私が振興会長になったのは、父孝悌のあとで、たしか初代は高多茂の先々代。そして二代目の父、私は三代目だと記憶している。私の次が阿部肇氏、辻永剛一氏、池田正氏そして現在の高橋昌一氏が七代目ということになる。

私が会長の頃は、北部(割山地区)も新屋振興会の中に含まれ、まだ独立分離していなかった。

新屋が中心となり、浜田・豊岩・下浜振興会を秋田西部振興会連合会として一体となり運動を展開したものだ。当時といっても今から二十〜三十年前のこととて橋も南部バイパスや南大橋もなく、秋田市中心地までの交通の便も悪

く東北バルブ(後十条製紙)の汚水の排水もきたなく、風向きによつては悪臭を放っていた。その当時からドブ川に蓋をして花壇やテニスコートなどを設けたらどうかと運動をくり広げたが、現在美術短大を中心としてきれいに整備された街並みを見ると隔世の感に打たれるものがある。下浜八田一も名ケ沢も車で通れるようになったのも昭和四十二〜三年頃だ。

時代とともに郷土新屋もますます変容すると思うが、高橋振興会長ともども新屋住民の創意と熱意により大いに発展されんことを祈つて止みません。



### 「あらかや衆報」の思い出 元広報部 田村 義智

昭和六十年六月、新屋町内会連合会・新屋消防後援会・新屋振興会を合併して「ニュー新屋振興会」が誕生。阿部肇会長のもとに広報部を担当することとなった。平成三年五月まで七年間だった。一あらかや衆報」第五十八号から第七十六号までの編集発行にあたったが、まず思い出されるのは一緒にやった広報部の人たちのこと。

大島敏男。ボクシングの元高校チャンピオンと言われてもピンと来ない温厚な人。多忙な勤務にも関わらず黙々と貢献してくれた。渡辺忠雄。まとめ役に徹して、ワリカン決定権をもち、財政面の揺るぎない基盤を確立してくれた。

将棋三段。歌詞の暗記力抜群。仲野政雄。面白い話題のナンデモ博士。こんな物知りは新屋中探してもナカナカ見当たらない。本

人手作りの鴨鍋のウマカッタコト。小松重昭。真面目の手本。家業が忙しいのにホントに良くやってくれた。広報部に入ったおかげでカラオケで「昂」などこなす。菊池幸子。億劫がったり困ったりすることの全くない人。カオの広いこと広いこと。原稿集め広告集めを苦もなくこなす。名歌手。大野恵美子。責任感が強く仕事が早い。無理矢理握らされたマイクから流れる「ワタシノ好キナダシナサマ」が良かった。

### あらかや衆報発刊一〇〇号を祝して



新屋振興会相談役 池田 正

あらかや衆報一〇〇号の発刊、誠にめでたいとございます。

長年にわたり新屋振興会の広報紙として、会の動向や地域の歴史、豊富な情報を町民に提供していただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

これまで衆報発行に携わってこられた歴代広報部員の方々には、発刊の財源としての広告のお願い、集金、そして衆報の編集・校正等並々ならぬご労苦に対しあらためて敬意と感謝を申し上げます。

これまで数十年間に亘り、町民から愛読されてきた「衆報」の果たしてきた功績は計り知れないも

のがあります。一〇〇号を機会に、さらに内容の充実と、将来町の発展を担う若い人達に、町の発展、振興に対する「夢」や、「提言」の参加を求め、そこから町の発展のための議論が沸きあがる様に「衆報」が先導されるよう希望申し上げます。

「衆報」が、町民相互の絆を一層強め町の発展に更なる貢献のため発行の継続をされるよう祈念いたします。

最後になりましたが、「衆報」発行にご協力いただいております商店・事業所に対しても、これまでのご協力と今後継続してご協賛

をお願い申し上げます。新屋振興会の益々のご発展と、「衆報」発行に携わる関係の方々の一層のご精進を期待し、お祝いのご挨拶といたします。



昭和12年頃の冬の表町通り

渡辺昭治。プロ級の写真家。大人しくて寡黙だが筋金入りの新屋衆。写真と同じくらい勉強している新曲が次々に出てくる。

堀川勝裕。広報部随一の文章家。名誉ある独身を守りながら新屋のサクラと花火の文闘番を受け持つて来た。消防団の花形でもあった。高橋慶太郎。知る人ぞ知る酵母関係の学者。家業の醸造に活かして農林大臣賞をもらっても知らぬ顔をしている。

短い期間であったが「光食堂」の栗原英男。栗田町の東海林弘。石巻に転動した庄司要。みんな「あらかや衆報」をこよなく愛してくれた人々だった。「雄物川放水路通水五十周年記念花火大会」は昭和六十三年七月三十日のことだったが、総予算二千二百万円のうち一千七百五十万円を協賛金として集めるため、当

時の高橋昌一県議・船山元秋田市助役のご協力を得ながら、阿部振興会長が獅子奮迅の大活躍をされた姿は今なお心に焼き付いている。協賛の企業・商店・各団体を金額の多寡によって活字に差をつけて印刷し、雄物川の両岸につめかけた市民に配って歩いたことも、広報部の仕事として思い出が深い。翌年には秋田市市政百年記念事業で雄物川花火大会を行なうこととなり新屋振興会はこれに協力した。

秋田の夏の風物詩として今日まで続けられているのは、阿倍会長の遺産のような気がする。美術工芸短大・新屋図書館・新秋田大橋など新屋は一日も止まることなく変貌している。「あらかや衆報」一〇〇号も未来に続く新屋発展の一里塚に過ぎないことを忘れず、町民の心の広場となるよう、なお一層のガンバリを期待している。

### 「衆報」編集でまなぶ四年間 草創期の先人を称え 更なる充実と継続を



元広報部 久保目 喜一

明けましておめでとうございます。かさねて「あらかや衆報」百号発行おめでとうございます。記念すべき百号編集に携わった編集委員の皆さんのご苦勞に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

私が新屋振興会に関わったのは今から六年ほど遡り、「あらかや衆報」第八十九号(平成九年八月一日)から第九十六号(平成十三年一月一日)までの二期四年間、八号の発行でした。

定年退職して二、三年で振興会広報部のお話しがりましたが、

町内の会計の任期中でしたのでお断りし、任期切れを待ってお引き受けしたような経緯でした。広報部の仕事はただ一つ「あらかや衆報」の編集、発行で、正月とお盆の年二回です。編集部のメンバーは部長に渡辺忠雄氏を筆頭に高島三男、大門暢、赤沼悦子、熊地ケンの各氏でした。

編集会議は、新屋支所の二階か西部公民館で、当時新屋支所には冷房設備がなく、真夏の夜の編集会議は大変でした。タオルを首にかけ汗を拭き拭き、まわりつく

# 衆報第100号発 新屋の歴史を



あらや衆報百号を記念して  
新屋振興会顧問 穂積 志  
秋田県議会議員

あらや衆報の創刊は、昭和三十一年と聞いておりますから、それから四十六年間、地域の諸行事や歴史、地域振興に関わるさまざまな事柄など地域コミュニティーの拠り所として、親しまれ、この度、第百号が発行されることは、誠にめでたく、その間、衆報発行に携わってこられました皆様に心より感謝と敬意を表する次第であります。四十六年間を顧みますれば、その時々の社会事情や、経済状況が思い出されます。昨今の経済状況は、どこでも、「不景気だ」「不景気だ」という声がかかれ、国民の中には、どうしようもない半分あきらの状況さえ見受けられます。不

良債権処理を急ぐあまり税制、金融、雇用などの総合的なデフレ対策が十分なされていないところに原因があると云わざるをえません。さて話しは変わりますが、平成十二年度に、秋田市では、第五次秋田市総合都市計画と第九次秋田市総合計画を策定し、我が郷里新屋地区は、地域資源と水・緑を活用した芸術の街という目指すべき姿が示されました。秋田公立美術工芸短期大学の学生さんたちが創作した、モニュメントや作品を、大川端帯状公園や雄物川河川敷、大森山、梅林園などに展示するばかりではなく、新屋街のいたる所に展示し町全体を美術館として捉

えることも、おもしろい発想だと思います。都市計画の変更も必要となりますが、十条パルプの工場自体もひとつのモニュメントとしてとらえ、美術館として再生はできないものでしょうか？（二年前に私の知人で、フジテレビ系のフジテレビギャラリーの研究員の方に新屋を視察していただきました。彼は、美短の付属美術館として活用すべきだと提言しておりました。）

あれやこれや、私の頭の中には様々な想いがあります。これから新屋について、地域・行政・議員が、ひとつになつて真剣に取り組んでいかなければならないと思っております。

今後とも、微力ながら、地区発展のため、がんばる覚悟でありますので、変らぬ御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。



皆様の希望実現が私の願い  
新屋振興会顧問 新岡 雅  
秋田市議会議員

あらや衆報「一〇〇号」発行おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

この機会に私は、郷土の生んだ先覚の人・川口弥之助先生の「新屋衆の歩いた道」(昭和六十三年十一月出版)をひもといてみました。その記述によると新屋振興会の結成は昭和二十二年九月、「新屋衆報」の第一号は昭和三十一年五月発行、と記されています。そしてこの衆報発行は当時の振興会長・穂積孝悌先生(医師)、大嶋清蔵氏(民謡研究者)、田村芳麻呂氏(朝日新聞記者)と栗原英男氏(栗原食堂の経営者)の四者会談

で同年三月頃一杯飲み席上、話題となつて談論風発のなかで衆議一決。表題を「新屋衆報」と命名して誕生したといわれます。

川口先生は、同書で「あらや衆報」が今日町民の情報源として、また町発展構想の方向づけとして親しまれる刊行物となつた。発行を企画実行する困難を克服して下さつた先輩四氏に深甚の敬意を表する。(この部分は原文のまま)と回顧しています。

まさしく同感の限りです。「一〇〇号」に到達する間、歴代の振興会長をはじめ数多くの「衆報」編集者の人知れぬ努力に私は、心

から敬意を表すると共に、町民共有の財産として「衆報」がさらに全町民の和と力で永続発展し、二十一世紀の情報化時代にふさわしい郷土・新屋の文化形成の糧となるよう念じ申しあげます。

世は二十一世紀に入つて毎日が急転回しています。世界の動きは善しにつけ、悪しきにつけマスメディアを通じて一瞬のうちに私たちの居間にとどきます。

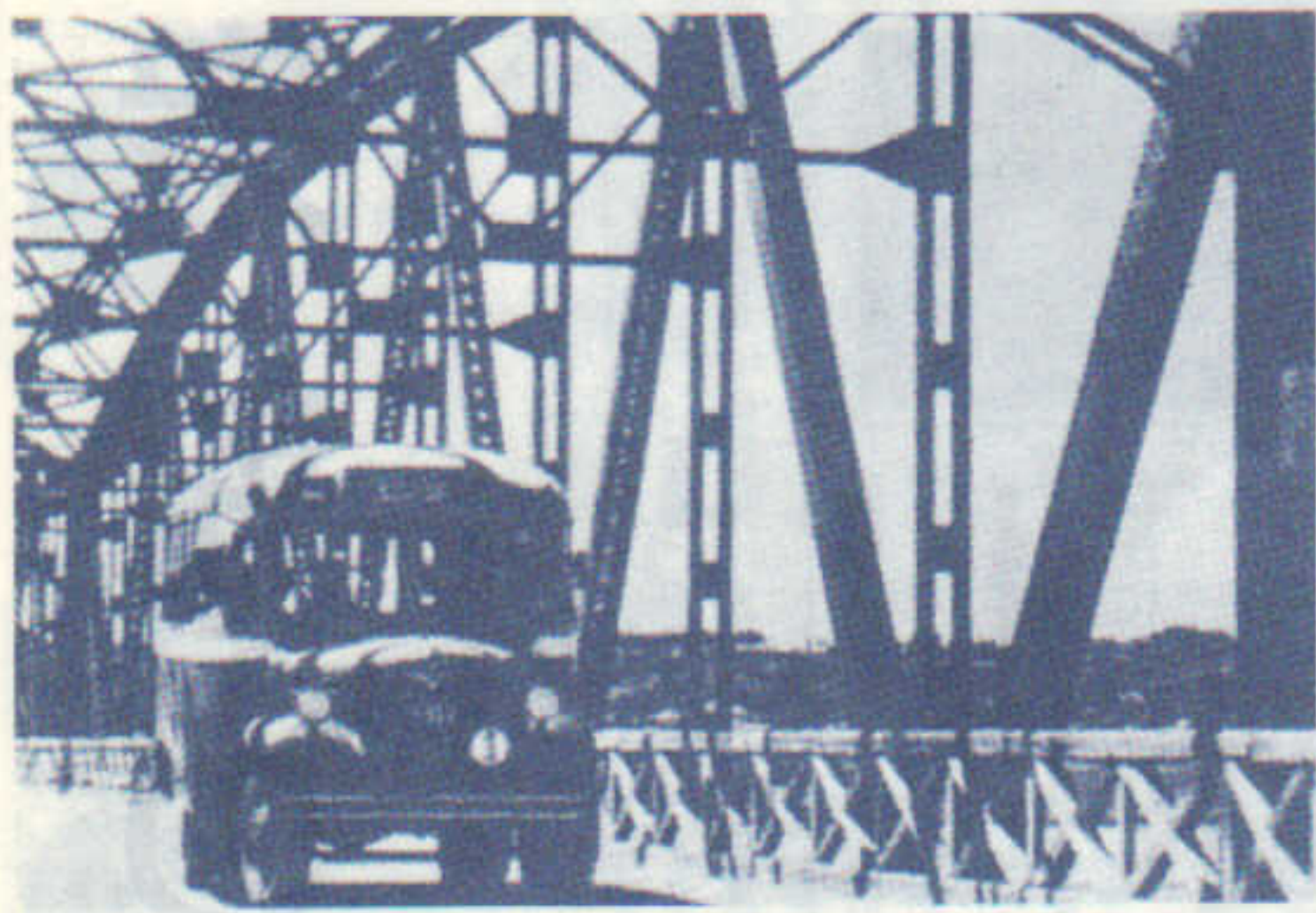
そこで、問題となるのは正しい情報のキャッチであり、私たちの希望を追い求める方法ではないでしょうか。私は世の中がどんなに急変万化しようとも、変らぬ新屋全町民の求める希望は平和な家庭であり、人に優しい福祉であり、そしてより安全な生活の保障ではないだろうか、と常々考えています。それには町民の創造と努力と

忍耐力を絶対不可欠なことだ、とも考えています。

皆様もご承知の通り昨年一月、例の九・十一テロに端を発したアフガニスタンの復興支援国際会議が東京で開催された時、日本の政府代表・緒方貞子さん(元国連難民高等弁務官)は次のように述べています。「物事は直線では進まない。忍耐強く時間をかければ、必ず動く」と。私はこの言葉に深い大きな感動を受けました。

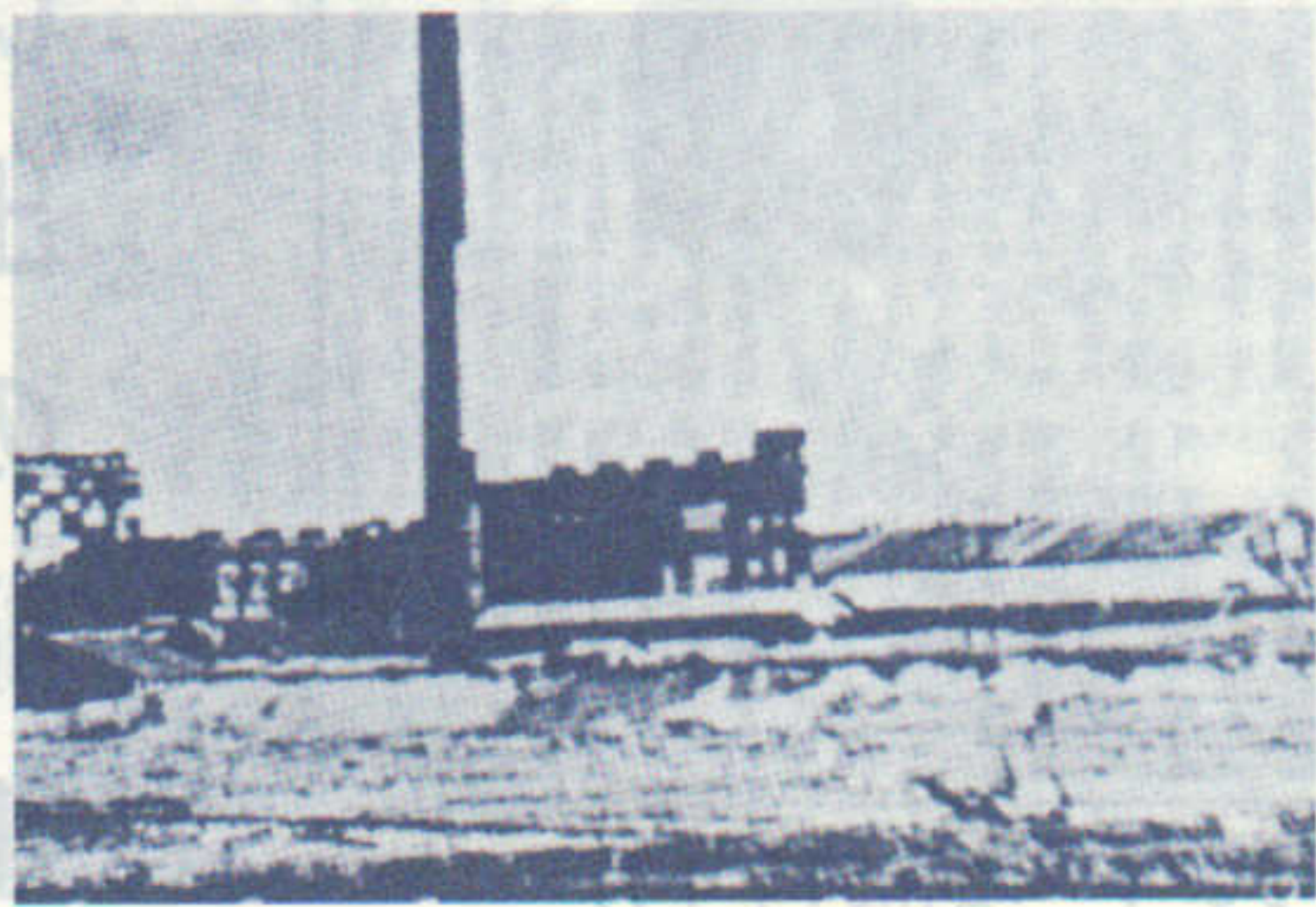
昭和四十六年以来、私は皆様のご支援一筋で市会議員の重責にありま。皆様の希望の実現、それは私の使命です。その使命達成には時間こそかかっても、必ず成し遂げたい。これは衆報発行・一〇〇号記念に寄せる私の願いです。

また、編集メンバー全員であったる作業の一つに、協賛広告を載るのに商店や企業にお願いに廻ることなど。



20年代後半。秋田大橋を行く新屋線バス

昭和29年頃の東北パルプ工場



とがあります。経験、初心問わず、みなさんご苦労なされたことは「あらや衆報」編集に関わった人でなければその辛苦は判つてもらえない一つといえそうです。

長いようで僅かな期間でしたが渡辺部長さんをはじめみなさんのお世話になりながらの思い出は彷彿として限りありません。

新屋振興会の広報紙「あらや衆報」編集の一端に加わった者として、百号発行記念紙に寄稿できたことに感謝するとともに、内心恒惓たる思いを深くしていると



### あらや衆報百号によせて 新屋振興会顧問 秋田市議会議員 田口 聡

あらや衆報が発刊以来、百号を迎えるとは長い長期に渡り編集に携わった方々のご努力に対して敬意を表したいと思います。

新屋衆の意見や思い、更に地元の記事や歴史を綴り新屋町の広報紙として百号を迎えるときに、今、時代の変遷を感じずにはいられません。

私が新屋に生まれたのは昭和十九年であり、東北パルプの城下町として商店街が繁栄し、豊で清らかな湧き水を利用した地場産業の酒や味噌、醤油などの醸造業も繁栄をしております。以来、半世紀が過ぎ去り新屋は大きく変わりました。東北パルプはなくなり、地元や周辺地域に大型量販店が進出したため、商業は疲弊し、過当競

争の中で酒や味噌、醤油などの醸造業も苦戦を強いられております。秋田市のベットタウンとして人口は増加しているものの、主要産業が衰退している今こそ、新屋の将来はどうあるべきかもう一度考えてみる必要があると思っております。

平成八年三月に「新屋地区まちなみデザイン推進事業協議会」が「新屋地区 未来の拠点づくりのために」とのメインテーマの基、秋田駅東口に平成十六年を完成予定として建設が進められている(仮称)拠点センターのような商業施設と公共施設による複合施設の建設を新屋駅前再開発事業として実現できないか調査研究した経緯があります。

以来、六年が経過し、現在では新屋の活性化に役立てようと調査研究されたこの複合施設建設の話は立ち消えとなっておりますが、新屋町を我々の手で昔のような賑わいのある町に再生させたいの思いと活動は大いに評価するものであります。

この思いを忘れずに、もう一度、我が新屋を活性化するための論議を始める必要があると思うのであります。それには、地元業者だけでなく住民各層による幅広い論議が必要と考えます。そして、長引く経済不況や自治体が効率化を推進している現状を考えると活性化の起爆剤となる箱物の建設は不可能と考えられ、既存の施設や事業を活用してのソフト面での論議が必要と考えます。

それを、考えるときに、新屋には多くの財産があります。公立美術短期大学や付随する開放センター、隣接する新屋図書館、大森山動物園や帯状公園さらに、大川散歩道など。また、全国的に有名な新屋高校の吹奏楽部も地元の財産であり、温泉施設もできるやうであります。

たとえば、夏の雄物川花火大会を夜の花火大会だけで終わらせることなく、昼には公立短期大学での開放講座の開催、大川散歩道でのフリーマーケットの開催、带状公園での吹奏楽の演奏、新屋図書館でのお話会の開催、また、夜には大森山動物園から花火を見物できる夜の動物園などを関連事業として開催し、この日は一日中新屋にいると面白いことがある日とするなど、単に花火大会で終わらせることがないように関連する行事の充実が必要と考えます。

このように雄物川花火大会だけではなく、新屋町のそれぞれの行事や祭りでも、関連ソフトの充実により、新屋の活性化が図れないものか大いに論議する必要があると考えます。

あらや衆報百号を契機に、新屋町の活性化について論議をしてみませんか。

にむけての一步一步に期待します。小生、この四月大きなハードルをめざして頑張ります。よろしく！

師走を迎えました。この月の扉の前にたたずむとき、あたかも自然のならわしでもあるかのように、誰しもが過ぎたこの一年を振り返ります。世は依然として混濁。閉塞から抜け出せないままにある。しかしふるさとへの夢は「笑顔と夢のみえる生きがい発信のまち」であろうかと思う。思うままに綴ってみたい。古い時代のまじりくりはいかにして敵からまちを守るかが快適な生活環境や利便よりも優先した。そして新しいもの

師走を迎えました。この月の扉の前にたたずむとき、あたかも自然のならわしでもあるかのように、誰しもが過ぎたこの一年を振り返ります。世は依然として混濁。閉塞から抜け出せないままにある。しかしふるさとへの夢は「笑顔と夢のみえる生きがい発信のまち」であろうかと思う。思うままに綴ってみたい。古い時代のまじりくりはいかにして敵からまちを守るかが快適な生活環境や利便よりも優先した。そして新しいもの

### あらや衆報百号を記念して 新屋振興会顧問 秋田市議会議員 赤坂 光一

「古きよきもの」を守りながら一方ではいかにして「新しきよきもの」を創造していかねばならぬかを考えねばならない。たとえ壁のほげかけたふるい建物にも、昔から人々をやさしく見下しつつつてきた古木にも私達は心をそそがねばならないと思う。美しい庭園や自然を保護しながら水を清く、緑をふやし、人々が心安らぐ、うるおいを感じるようなまちを創っていかねばならないと強く思う。

この文がとどくころは新しい年！くれぐれも寒さにご用心！なくよい年をお迎えください！ように「あらや衆報」も二〇〇号

この文がとどくころは新しい年！くれぐれも寒さにご用心！なくよい年をお迎えください！ように「あらや衆報」も二〇〇号



馬コ給のじっちゃん子どもたち (昭和29年頃)

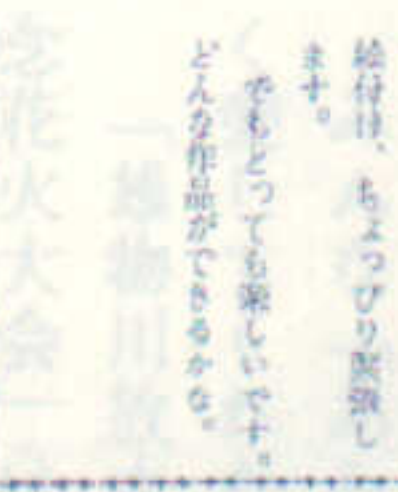
# 衆報のあゆみ

## 想い出の記事



### 期待の 地区体協誕生

新屋地区体育協会が、去る十一月十三日、新屋地区において設立総会を開催し、誕生した。



### 市民憲章だより

高橋寛さんら入賞  
政社と市民憲章コンテスト  
第十二回市民憲章コンテストの入賞者発表式が、去る十一月十日、新屋町公民館で開かれた。



### 十條パルプ株式会社 発足の二扶抄

十條パルプ(株) 社長 高倉 嘉行  
競争力を失い、公営化を余儀なくされた十條パルプが、去る十一月十日、新屋町公民館で創立二十周年記念式典を開催した。

### 振興会のあゆみ

昭和五十五年度  
新屋振興会定例評議員会が去る十一月十日、新屋町公民館で開かれた。

議長	高倉 嘉行
副議長	高倉 嘉行
評議員	高倉 嘉行
幹事	高倉 嘉行
庶務	高倉 嘉行
会計	高倉 嘉行
広報	高倉 嘉行
総務	高倉 嘉行
庶務	高倉 嘉行
会計	高倉 嘉行
広報	高倉 嘉行
総務	高倉 嘉行

(1) 第50号

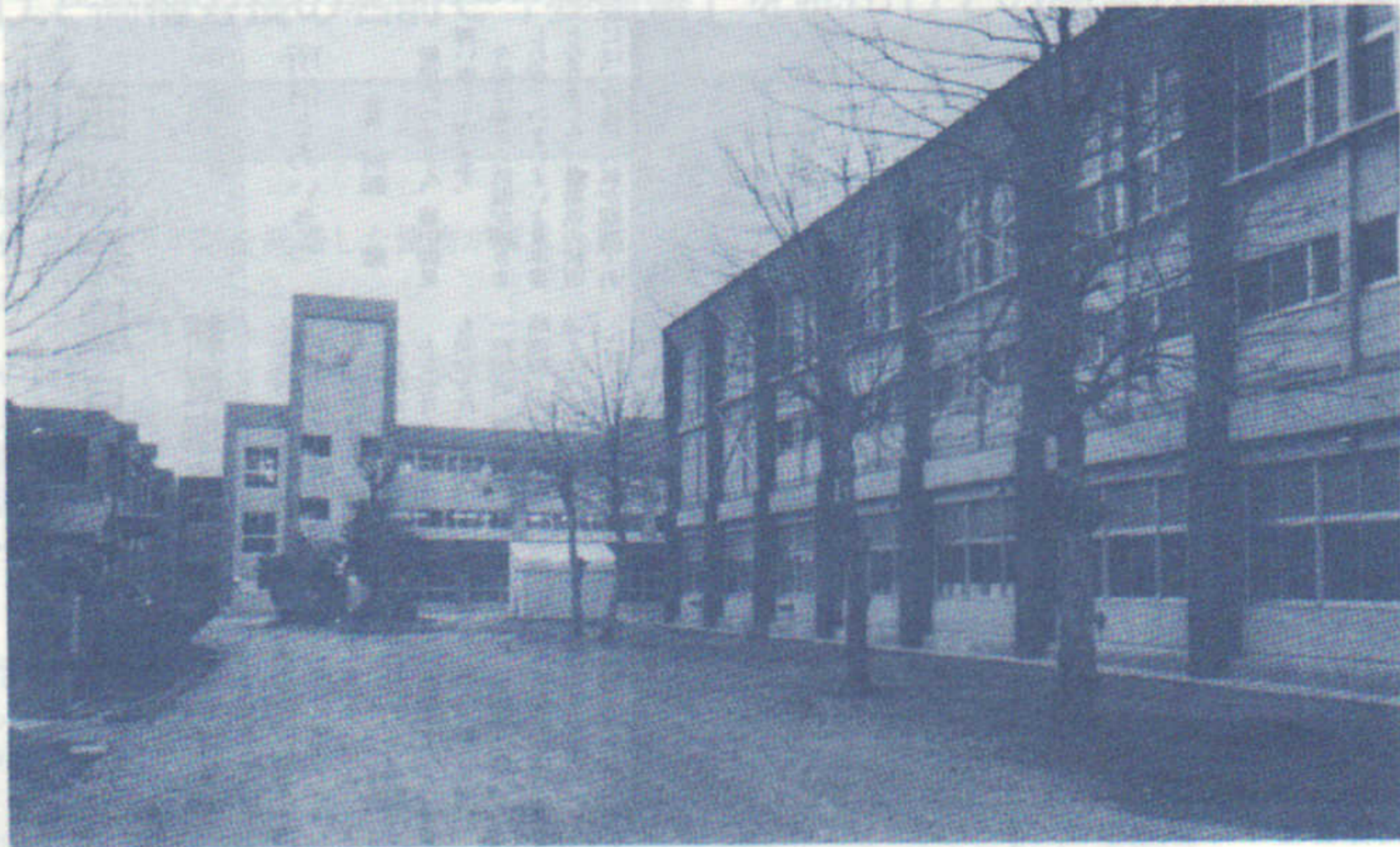
あ ら や 衆 報

昭和56年8月10日

	新屋南部	新屋北部	合 計
総人口	12,325人	11,921人	24,246人
男	5,876	5,954	11,830
女	6,449	5,967	12,416
世帯数	3,621世帯	3,544世帯	7,165世帯

# あ ら や 衆 報

二、新屋 小項  
大島 勲九郎氏  
大島 慶四郎氏  
中川 良太郎氏  
新屋振興会  
新屋地区の発展  
新屋地区の発展  
新屋地区の発展



## 秋田西中学校校舎完成

### 環境整備と設備の充実に 秋に竣工式を予定

秋田西中学校は、東側校舎が完工し、この四月に一、二階部分を完成させ、鉄筋コンクリート三階建ての全面改築が完了した。新校舎は、秋田市の中心部、新屋地区に位置し、環境整備と設備の充実に合わせて、今年秋に竣工式を予定している。

秋田西中学校は、東側校舎が完工し、この四月に一、二階部分を完成させ、鉄筋コンクリート三階建ての全面改築が完了した。新校舎は、秋田市の中心部、新屋地区に位置し、環境整備と設備の充実に合わせて、今年秋に竣工式を予定している。

新校舎は、環境整備と設備の充実に合わせて、今年秋に竣工式を予定している。新校舎は、環境整備と設備の充実に合わせて、今年秋に竣工式を予定している。

あ ら や 衆 報 第 50 号 より 昭和 56 年 8 月

(3) 第60号 30周年記念号

あ ら や 衆 報

昭和61年1月1日

# あ ら や 衆 報 創 刊 30 年 記 念 特 別 座 談 会

記録  
佐藤 二郎氏  
新屋振興会  
新屋支部  
新屋支部  
新屋支部

出席者  
阿部 謙氏  
大島 勲九郎氏  
大島 慶四郎氏  
中川 良太郎氏  
発言者

## 愛されるあらの顔

新屋振興会が昭和三十一年に発行された、この度創刊三十周年を迎えるに当たり、過ぎし日の福集関係者に思いをいたし、今後の新屋地区発展の原動力となる、新屋振興会と町の人のパイプ役を担う、新屋振興会に、愛されるあらの顔を伺った。

新屋振興会が昭和三十一年に発行された、この度創刊三十周年を迎えるに当たり、過ぎし日の福集関係者に思いをいたし、今後の新屋地区発展の原動力となる、新屋振興会と町の人のパイプ役を担う、新屋振興会に、愛されるあらの顔を伺った。

愛されるあらの顔は、新屋振興会が昭和三十一年に発行された、この度創刊三十周年を迎えるに当たり、過ぎし日の福集関係者に思いをいたし、今後の新屋地区発展の原動力となる、新屋振興会と町の人のパイプ役を担う、新屋振興会に、愛されるあらの顔を伺った。

新屋振興会が昭和三十一年に発行された、この度創刊三十周年を迎えるに当たり、過ぎし日の福集関係者に思いをいたし、今後の新屋地区発展の原動力となる、新屋振興会と町の人のパイプ役を担う、新屋振興会に、愛されるあらの顔を伺った。

愛されるあらの顔は、新屋振興会が昭和三十一年に発行された、この度創刊三十周年を迎えるに当たり、過ぎし日の福集関係者に思いをいたし、今後の新屋地区発展の原動力となる、新屋振興会と町の人のパイプ役を担う、新屋振興会に、愛されるあらの顔を伺った。

あ ら や 衆 報 第 48 号 より 昭和 55 年 8 月

(1) 第62号

あ ら や 衆 報

昭和61年8月10日

暑中お見舞申し上げます  
**秋田十條化成株式会社**  
**秋田十條緑化株式会社**  
**秋田十條建産株式会社**

# あ ら や 衆 報

編集と発行 新屋振興会広報部長 田村義智 印刷所 大門印刷株式会社584615

暑中お見舞申し上げます  
**三菱金属株式会社**  
 秋田製錬所長 山本 雄三



雄物大橋開通テープカット

## 西部発展目指し 新屋振興会エンチン全開

### 所信とあいさつ

新屋町の皆さん、暑中御見舞申し上げます。今年も暑い夏が過ぎ、秋の気配が感じられます。新屋町の発展を期して、エンチン全開で取り組んでまいります。今年度は、秋田県道新屋土崎港線が開通し、交通の便が大幅に向上しました。これは、今後の地域の発展にとって大きなチャンスです。新屋町の新しい町づくりを進め、地域活性化を図ってまいります。また、秋田県道新屋土崎港線の開通により、秋田県内各地とのアクセスが容易になり、観光やビジネスの面で大きなメリットを生み出すことが期待されます。新屋町の発展を期して、エンチン全開で取り組んでまいります。今年度は、秋田県道新屋土崎港線が開通し、交通の便が大幅に向上しました。これは、今後の地域の発展にとって大きなチャンスです。新屋町の新しい町づくりを進め、地域活性化を図ってまいります。また、秋田県道新屋土崎港線の開通により、秋田県内各地とのアクセスが容易になり、観光やビジネスの面で大きなメリットを生み出すことが期待されます。新屋町の発展を期して、エンチン全開で取り組んでまいります。

## 夢の実現が 町の活性化に

### 企画開発部



企画開発部

企画開発部は、地域の発展を期して、各種の企画を推進しています。今年度は、秋田県道新屋土崎港線の開通により、交通の便が大幅に向上しました。これは、今後の地域の発展にとって大きなチャンスです。新屋町の新しい町づくりを進め、地域活性化を図ってまいります。また、秋田県道新屋土崎港線の開通により、秋田県内各地とのアクセスが容易になり、観光やビジネスの面で大きなメリットを生み出すことが期待されます。新屋町の発展を期して、エンチン全開で取り組んでまいります。

## 事故未然防 思いやり

### シロリング街に

先づ玄関口としての駅は、地域の発展に重要な役割を果たしています。今年度は、秋田県道新屋土崎港線の開通により、交通の便が大幅に向上しました。これは、今後の地域の発展にとって大きなチャンスです。新屋町の新しい町づくりを進め、地域活性化を図ってまいります。また、秋田県道新屋土崎港線の開通により、秋田県内各地とのアクセスが容易になり、観光やビジネスの面で大きなメリットを生み出すことが期待されます。新屋町の発展を期して、エンチン全開で取り組んでまいります。

## レクリエーションコース

モーターボートが楽しめるレクリエーションコースを企画しています。今年度は、秋田県道新屋土崎港線の開通により、交通の便が大幅に向上しました。これは、今後の地域の発展にとって大きなチャンスです。新屋町の新しい町づくりを進め、地域活性化を図ってまいります。また、秋田県道新屋土崎港線の開通により、秋田県内各地とのアクセスが容易になり、観光やビジネスの面で大きなメリットを生み出すことが期待されます。新屋町の発展を期して、エンチン全開で取り組んでまいります。

あ ら や 衆 報 第 6 2 号 昭 和 6 1 年 8 月

(1) 第67号

あ ら や 衆 報

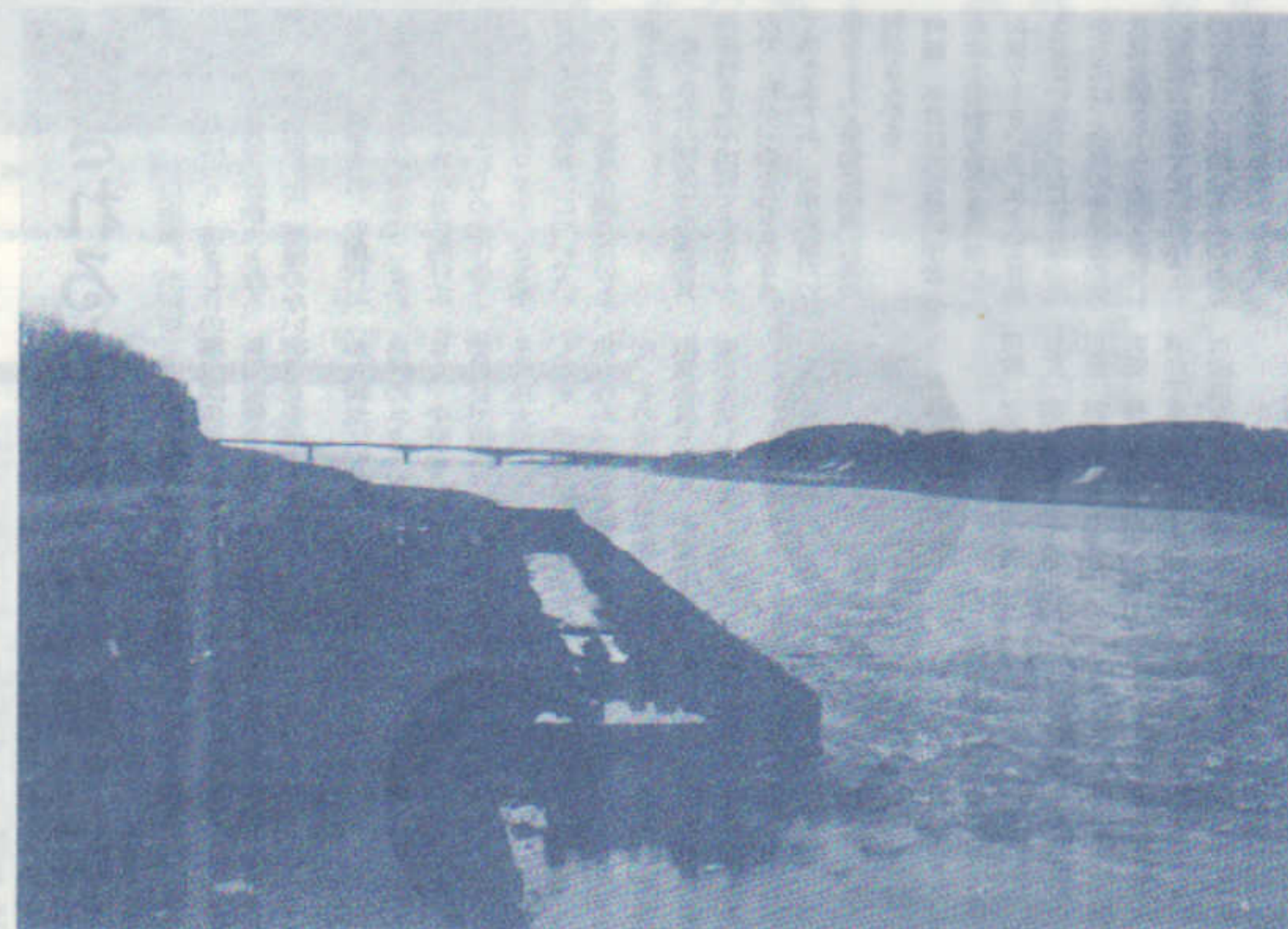
昭和63年5月20日

# 雄物川放水路 通水50周年

# あ ら や 衆 報

# 記念花火大会 推進特集号

編集と発行 新屋振興会広報部長 田村義智 印刷所 大門印刷株式会社584615



## 雄物川放水路通水50周年 記念事業の成功をめざして

### 実行委員長 (新屋振興会会長)

### 阿部 肇

雄物川放水路通水50周年記念事業の成功をめざして、実行委員会がさまざまな取り組みを行っています。今年度は、秋田県道新屋土崎港線の開通により、交通の便が大幅に向上しました。これは、今後の地域の発展にとって大きなチャンスです。新屋町の新しい町づくりを進め、地域活性化を図ってまいります。また、秋田県道新屋土崎港線の開通により、秋田県内各地とのアクセスが容易になり、観光やビジネスの面で大きなメリットを生み出すことが期待されます。新屋町の発展を期して、エンチン全開で取り組んでまいります。

## 雄物川放水路通水 50周年に当たって

### 実行委員長

### 横山 啓太郎



雄物川放水路通水50周年記念事業の成功をめざして、実行委員会がさまざまな取り組みを行っています。今年度は、秋田県道新屋土崎港線の開通により、交通の便が大幅に向上しました。これは、今後の地域の発展にとって大きなチャンスです。新屋町の新しい町づくりを進め、地域活性化を図ってまいります。また、秋田県道新屋土崎港線の開通により、秋田県内各地とのアクセスが容易になり、観光やビジネスの面で大きなメリットを生み出すことが期待されます。新屋町の発展を期して、エンチン全開で取り組んでまいります。

あ ら や 衆 報 の あ ゆ み  
 雄物川放水路通水50周年記念事業の成功をめざして、実行委員会がさまざまな取り組みを行っています。今年度は、秋田県道新屋土崎港線の開通により、交通の便が大幅に向上しました。これは、今後の地域の発展にとって大きなチャンスです。新屋町の新しい町づくりを進め、地域活性化を図ってまいります。また、秋田県道新屋土崎港線の開通により、秋田県内各地とのアクセスが容易になり、観光やビジネスの面で大きなメリットを生み出すことが期待されます。新屋町の発展を期して、エンチン全開で取り組んでまいります。

# 国・県・市への要望事項に対する回答

新屋振興会として、毎年町内会、各主団体から要望を取りまとめ、国・県・市及び秋田警察署に、「要望書」を提出して回答を頂いております。今年も町内会長、理事協議会で充分協議して、9月4日付けで高橋会長の名前で「要望書」を提出しその回答が出されましたので、お知らせします。

要 望 事 項	回 答
<p>☆秋田市に対する要望事項</p> <p>1. 新屋比内町市営住宅は耐用年数を経過した建物がほとんどであり、早期建て替えをお願いします。</p> <p>2. 昨年度要望事項の回答の中で市を通じて県に要望された下記事項について、その後の進捗状況をお知らせ下さい。</p> <p>① 雄物新橋の新屋側T字路交差点に照明灯の設置について</p> <p>② 県道新屋土崎港線の元町6-36地先から6-59地先間は、道路が狭い上に傾斜地であり、冬期間はスリップで渋滞が激しいので、融雪化をお願いします。</p> <p>③ 県道新屋土崎港線元町バス停（元町5-23地先）付近は、この周辺でもっとも低い場所であるため、雨水が集中し、道路が冠水するので、現地調査の上、路盤、排水溝の改善をお願いします。</p> <p>3. 松くい虫の防除対策について 松くい虫の被害が広がってきており、新屋にもその被害林が目立つようになった。このまま放置すれば、栗田定之丞以来植育樹を続けてきた海岸の松の木が危ないので、駆除対策をお願いします。</p> <p>4. 西部運動広場の出入口傾斜地と便所の改善について。 道路から運動広場への出入口通路は、傾斜が激しく乗用車の腹がつかえるので改善を願いたい。又、便所も悪臭がひどいので、改修をお願いします。</p>	<p>当該要望事項については、借地の解消や国庫補助金の確保などの課題はありますが、用地測量に着手するなど、早期建設に向け検討しておりますのでご理解をお願いします。 （市営住宅課）</p> <p>下記の事項については、秋田県（秋田県建設事務所道路課）にその後の対応等を確認し、以下の回答を得ておりますので、お伝えします。</p> <p>今年度、ご要望のT字路に照明灯を一基設置します。（秋田県建設事務所道路課）</p> <p>降雪施設については、道路縦断勾配6%以上の急坂路を基準としており、それ以外の道路については、機械除雪及び融雪剤散布で対応しております。今年度は、雄物新橋の片側交互通行を降雪前に解除する予定であり、渋滞緩和も期待されることから、今後、渋滞状況等を調査してまいります。</p> <p>現地調査した結果、冠水の原因は、市道との交差点からバス停までの区間の舗装が、側溝より低く路面排水が悪いためと思われることから、今年度当区間の舗装補修を実施します。 （秋田県建設事務所道路課）</p> <p>◎舗装補修実施済</p> <p>松くい虫防除については、市内全域を効率的に防除するため、より公益的機能の高い松林や被害拡大が憂慮される松林、史跡、公園等のいわゆる「守るべき松ばやし」を優先的に防除しているのが現状であり、森林以外の松については、所有者に防除をお願いしているところです。</p> <p>新屋地区を含めた西部地域については、激甚発生地である岩城町に隣接することから、県に対し広域的な一斉防除対策を早急に講ずるよう、強く要望するとともに、J R東日本にも働きかけ、被害林の伐倒駆除や薬剤散布等を継続的に実施し、松くい虫防除に努めてまいります。 （林務課）</p> <p>ご要望の西部運動広場の出入口傾斜地と、便所の悪臭については、改善に向け、改修等に努めてまいります。 （体育課）</p>
<p>☆秋田県に対する要望事項</p> <p>1. 新屋踏切片側歩道拡幅（豊岩踏切）について 最近西部工業団地からの車数増加、大型化に加え、駅東側の住宅増となり交通量、歩行者、自転車乗りが多く非常に危険ですので、早急なる改修を望みます。</p>	<p>日ごろ道路行政の推進には、多大なご協力をいただいております。</p> <p>豊岩踏切の片側歩道拡幅についてであります。この路線（寺内新屋雄和線）は、ご存知の通りバイパス工事が完成し、共用しております。このバイパス工事が完成すれば、豊岩踏切のある旧道を、秋田市に引継ぐことになっており、引継ぎに関する協議を進めているところです。</p> <p>豊岩踏切は歩道が狭く、歩行者、自転車等の踏切事故が心配されますので、ご要望の件については、秋田市と充分に協議してまいります。</p> <p>事情ご賢察の上、ご理解のほど、お願いいたします。</p>
<p>☆秋田警察署に対する要望事項</p> <p>1. 新屋交番の改築及び駐車場拡張について 最近の新屋地域における住宅の急増、そして人口の増加に伴う交通事故、事件の発生が予測されます。又、都市化の進展につれて夜間の犯罪も考えられます。犯罪の少ない明るい街をつくるには、地域における警察活動と住民との意思の緊密化が必要であり、このためのお互いの会話の出来る場所（会議室と駐車場）が必要と考えます。</p> <p>2. 横断歩道に歩行者専用信号機の設置について。 寺内新屋雄和線（高美町7番地先）南団地入口交差点の横断歩道は道路のカーブ地点に位置しており、豊岩方向から見通しが悪く危険な状態にありますので、歩行者専用信号機の設置をお願いします。</p>	<p>財政担当にもお話ししましたが、財政事情で全くめどが立ちません。</p> <p>来年度予算で要望に沿えるよう計画します。</p> <p style="text-align: right;">（秋田警察署警務課広報）</p>
<p>☆国土交通省に対する要望事項</p> <p>1. 昨年開通した秋田大橋は、その両端がスロープ化されており、しかも新屋側では、その先に信号機が近距離で二か所設置されており、凍結日にはブレーキをかける大変危険ですので、融雪方法を考えてほしい。又、歩道の除雪が悪く歩行者が、車道を歩く姿も見受けられるので、除雪をお願いします。</p>	<p>昨年のは、新しい秋田大橋が出来て初めての冬期だったので、橋の中心部（中央）を重点的に融雪剤を散布したので、両端に危険な時もあったかも知れないが、今冬は両端部分についても、十分に考慮して参ります。</p> <p style="text-align: right;">（国土交通省秋田工事事務所道路管理課）</p>

昨年要望した西中グラウンドと西部運動広場間の通学路の歩道の設置は、8月に完成し、子供達は元気に利用しております。又、やすらぎの森整備事業（日吉散策路：日吉神社境内）第一期工事が終了し、散策ができますのでご利用下さい。



日吉散策路



西部運動広場間の通学路

# 敬老の日に感謝

新屋婦人会事務局 伊藤 祐子

「あー。楽しかった。来年またきます。」の一言が嬉しくて思わずその方の手を取りました。益々のご健康とご多幸を念じて再会の約束をしました。新屋地区では敬老の日の行事として九月十五日と十六日の二日間に分けて敬老会が行われました。数え年七十五歳以上の方(十四年度一二二七名)が対象です。今年も三〇名の出席を頂きましたが、地域の方々が一堂に会するこの機会に多くの方がもっと気軽に出席してほしいと思いました。

私達婦人会では、年間行事の中でも敬老会は地域の大イベントとして位置づけ取り組んでおります。六月頃から準備に取りかかりますが、心配りと忍耐の啓蒙を重ねて、初体験の会員との一体感を深めながら行動を進めます。主催者側との打ち合わせの度、変動のある名簿作成や出席者の取りまとめに気遣いをしました。お料理の注文、記念品の品選び、会場の設定等、当日は出席者にとって最良の日であってほしいと皆真剣に事に当りました。

敬老会の当日です。昔風の奥床しさを添えた出席者をお名前のあるお席にご案内するのはとても嬉しいものです。

主催の新屋社福協の会長のあいさつではじまり、秋田市長につぎ来賓の方々から祝辞を頂きます。背筋を伸ばし、緊張の面持ちで



# 生活の中に生涯スポーツを

新屋地区体育協会会長 塚田 敏春

耳を傾ける出席者のお姿に胸が熱くなる思いでした。計り知れないご苦労や感動のドラマを演じてきた各々の尊い人生のオーラが会場に凜としたものを感じさせてくれました。地元の小・中学生の代表者による激励の呼びかけに目頭を押さえる感動の場面もありました。厳かな大正琴の演奏で祝宴の幕が上がりました。華やかさを添えたフラダンスや飛び入りの歌や踊りが続き、和やかな雰囲気の中ゆつくりと時が流れました。また、ナツメロの数々を全員参加しての大合唱も圧巻ですばらしいものでした。

元気で長生きは本人はもとより家族も地域もみんなが願うところですが是非又来年もお目にかかりたいと思われました。初秋の日ざしが穏やかな心豊かな一日は、会員にとっても感謝の一日でした。

謹んで新年のお慶びを申しあげます。体育協会も今年で創立二十五周年を迎えることとなりました。この間、地域の皆様には多大なご支援を賜わり厚く御礼申しあげます。当初、地域における「健康と体力づくり」を目標に進めてきたさまざまな事業・大会等も順調に推移しております。特に町民大運動会は、三十五回実施し、年々参加者が多くなっております。昭和六十三年には、二十回大会を記念し、西部運動広場から西中学校グラウンドに会場を移し、初めて千人以上の参加をみる事ができたのも大きな成果であります。また、この年から大抽選会も実施するようになり運動会の楽しみも広がったように思います。一方、この頃から「いつでも、どこでも、だれでも」をモットーにニュースポーツの普及振興が図られるようになり、我が新屋体育協ではソフトバレーボールの普及に着手しました。四年ほど講習会を重ね、最初は馴染みがなく、おもうようにできなかつた参加者もようやく面白味を覚え、春・秋ともに十一回の大会を開催し、現在では参加チームが一番多い競技となっております。



〈新屋地区体育協会主催〉

また、近年ではミニテニスも盛んになり、講習会で得た知識を活用し、サークルを結成し現在も多くの方が活動しております。ニュースポーツの普及とともに「生涯スポーツ」の振興も図られるようになり、新屋地区では「地域スポーツ活性化事業」として、小学校低学年を対象に「ジュニアスポーツクラブ」を設立し、ニュースポーツの楽しさや、団体生活の大切さなどを学んでおります。最近では、高齢者の方にもニュースポーツの楽しさを体験していただくための講習会を開催し、ペタンク、フロッカーなど普段聞き慣れない競技を楽しんでおります。今後、このような講習会等を計画的に実施してまいりますので、この機会に自分に合ったスポーツを見出し、生涯スポーツとして末長く楽しんで頂くと共に、皆様の健康管理に役立って頂ければと願っております。

# 新屋日新クラブ創立二十周年の記念行事開催

新屋日新クラブ 藤田 強

昭和五十七年に全県五〇歳野球大会に、新屋からも是非参加して、往年の新屋野球魂を県下に示そうではないかと、会長に大塚豊三郎さん、監督に佐々木三郎先生、主将に(故)加藤一さん、選手を合わせ総勢二十八名で結成され、第四回大会より出場しました。この年、初出場ながら(参加十七チーム)初優勝し、また、翌年の第五回大会でも準優勝と、それ以来第九回、第十六回、第十九回、第二十一回の大会と合わせて五回の全県制覇をし、新屋日新クラブの存在を全県に誇示したのです。更に、昭和五十八年から男鹿市で、全県五〇歳野球大会が開催したので、参加し、これまた、今年までに、七回の優勝と、六回の準優勝を飾っております。又、平成三年から南外村で、魁星旗争奪五五〇歳野球大会が開催され参加し、優勝一回、準優勝四回の足跡を残しております。更に、平成十一年から、秋田県選抜軟式野球大会にも参加し、まだ優勝までは行かないが、常に上位進出しております。以上新屋日新クラブのこれまでの概況について述べました。

昭和五十七年に全県五〇歳野球大会に、新屋からも是非参加して、往年の新屋野球魂を県下に示そうではないかと、会長に大塚豊三郎さん、監督に佐々木三郎先生、主将に(故)加藤一さん、選手を合わせ総勢二十八名で結成され、第四回大会より出場しました。この年、初出場ながら(参加十七チーム)初優勝し、また、翌年の第五回大会でも準優勝と、それ以来第九回、第十六回、第十九回、第二十一回の大会と合わせて五回の全県制覇をし、新屋日新クラブの存在を全県に誇示したのです。更に、昭和五十八年から男鹿市で、全県五〇歳野球大会が開催したので、参加し、これまた、今年までに、七回の優勝と、六回の準優勝を飾っております。又、平成三年から南外村で、魁星旗争奪五五〇歳野球大会が開催され参加し、優勝一回、準優勝四回の足跡を残しております。更に、平成十一年から、秋田県選抜軟式野球大会にも参加し、まだ優勝までは行かないが、常に上位進出しております。以上新屋日新クラブのこれまでの概況について述べました。



〈新屋日新クラブ創立二十周年記念行事〉

平クラブとの交流試合を行いました。当日は前夜の雨も上がり夏空の下で熱戦を繰りひろげ、又お互い交流を図りました。また、夜六時より日吉会館で、総勢七十名出席して、二十周年祝賀会を開催し、応援団を代表して高橋昌一様より「前回優勝した時、この会場で町民参加の祝賀会を盛大に開催された、是非再度優勝祝賀会を出来る様頑張ってください。」との激励の挨拶があり、又新岡雅市会議員よりは、「私も現役時は職場で野球を楽しんだ、今後も町の活性化の為に頑張ってください。」との挨拶を頂き、最後に日新クラブ大門潤治会長より「かかる栄光も選手だけで築き上げたものではなく、町民皆様からのご声援、先輩達の築いた功績があったればこそ成し遂げられたと感謝しております。今後ともご支援と応援を宜しくお願いいたします。」とお礼の言葉があり、その後は各テーブルごとに野球談話となり、盛大な祝賀会も八時半成功裡に終了した。



# きれいな街 新屋をつくるための ゴミのフォーラム開催される!

春に開催された新屋振興会定期総会に於いて、「新屋の町をきれいにしたい」との意見があり、新屋の環境整備について意見交換できる機会を設けることが決議されました。

それを受けて初めての企画となる「きれいな街新屋を作るためのゴミのフォーラム」が十月二十日(日)新屋支所二階会議室で、各種団体・町内会などの参加(六十数名出席)を得て開催されました。

高橋振興会会長の挨拶のあと、基調講演として秋田県ふるさと美化推進チーム・チームリーダーの佐藤充氏より、推進チームの紹介、美化運動の目的・役割・力点・目標などの説明がありました。また、各地域で行われている実践の紹介もあり、成功の鍵は大人だけの活動とせず子供も参加できる行事として定着させ、小さな頃から地域の美化に対する関心や意識づくりを高めることが大切であると力説されました。

また、各分野においてご活躍のパネラーから意見・提言発表がおこなわれました。

●パネラー発表要旨  
●植田 一氏  
新屋振興会理事

ももさだ海岸のクリーンアップ活動を十年以上継続行事として六月と九月に行なっている。活動の実情として参加人数が平成十年三〇〇人、平成十四年には二五〇人(一五〇人と推移している。ゴミ収集の量より参加者の意識、モラルの強化を目指している。分別に対する処理の煩わしさから不法投棄が多く気になっている。

●小野 隆三氏  
オノプロックス社長

町の西側山丘部の開発による地下水の減水と汚染の心配で、環境美化にはコストがかかる事を念頭に自然の環境を守る家造り、地域作りを心がける町内が増えて欲しい。事業主として環境美化、浄化へ取り組んでいるなど、居住地の生活環境の変化について心配していることや、個人で心がけていることを話された。

●三川 則子氏  
新屋婦人会文化部長

婦人会で取り組んでいる実例、紙紐利用で古紙収集、ブルタブを集めている西中への協力。主婦としての要望、犬の糞処理、バス停付近でのタバコの吸殻への意識強化、夜間のゴミ収集、レジ袋持参の実践運動、飲料後の空ペットボトル、空缶等のデポジット利用等。

●芳賀 龍平氏  
秋田市立日新小学校校長

日新小学校では、学校教育の中で思いやりの心で助け合う子供になる日新花〇活動をおこなっている。海岸、公園、施設、道路の清掃を通して地域の町への意識を変える、心の教育。美化活動の実施で満足でなく、意義、目的、自分が受ける心の変化、感動をねらい、行事を通して子供の心を育てている。家庭で実施することにより教育効果が大きく、家庭作り、地域作りになる。ほめられたり、認め

られる事で子供達は大きく成長する。

●富田 漣氏  
十條団地町内会長

十條団地内は公共施設が多く、通行人によるモラルのない捨て方によるゴミの量が多い。ゴミの処理、運動と共に一般人の環境美化に対するモラル向上、意識強化が大切な運動と思われる。

●若杉憲一氏  
新屋地区市民憲章推進協議会事務局長

市民憲章環境保健部の活動に花壇コンクール参加、さくら公園清掃年三回、犬の糞対策の看板、きれいな町づくりの看板を公園を中心に三ヶ所づつ設置。公園清掃にも子供の参加を呼びかけた。

●長木先生  
新屋高校教諭

新屋高校の地域清掃の事前報告



○コーディネーター  
高橋 昌一 新屋振興会会長  
○総合同会  
藤澤 浩 新屋地区社会福祉協議会会長  
このあと、参加者との意見交換がおこなわれ活発な論議が交わされました。内容も多種多様な意見

## 旧「秋田大橋」で 地元住民ら渡り納め

老朽化で、昨年十一月に新しい橋が建設、取り壊しとなった旧「秋田大橋」で、十一月三十日(土)橋への感謝式と詩碑の除幕式があり、地元住民ら約三〇〇人が渡り納めをした。

式典では、佐竹秋田市長は「旧橋同様に新しい橋も市民で大切に、心の懸け橋に」と挨拶し、続いて高橋新屋振興会会長は、雄物川と昔の大橋の思い出を披露した。式典終了後、両岸で「旧大橋」を記念した詩碑が除幕された。

新屋側詩碑 (秋田市新屋)  
「この橋を渡ればすぐ家だよ」  
数十年前、私の顔を覗き込んでそう言った主人。  
この言葉が今でも懐かしく心の奥に残っている。  
それからは私にとって、秋田大橋は喜怒哀楽を運ぶ架け橋であった。

茨島側詩碑 (前経法大生)  
「たそがれ橋」 井上高秋  
夕映えは、人々を影絵にして橋の上を渡していく、急ぐ人、なぜかうつむく人、弾む足、なぜか重い足どりの人、  
人さまさまな私たち、だが橋向こうには、別な時間と風景とが、待ち受けはいまいか、  
それでもなお人には、たそがれの橋を渡っていかねばならぬ時がある。

今度私が「お父さん、この橋を渡ればすぐ家だよ」と、もう二度と元気な姿で渡ることの出来ない主人を思い、声にならない声でつぶやいた。  
これからの秋田大橋が、たくさんの人たちの夢の架け橋となれる



水まわりのご用命は当社へ  
秋田市指定工事業者  
雄和町指定工事業者  
**吉田ビニール(株)**  
秋田市新屋鳥木町1番46号  
西部工業団地内  
TEL 018-828-2811  
FAX 018-828-2817

農業・肥料・農業資材・種子  
無人ヘリコプター  
**小泉商事株式会社**  
秋田中央営業所  
〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-136  
TEL 018-888-8811  
FAX 018-888-8666

JR券  
航空券  
宿泊券  
etc.  
“旅は、新しいあなた  
自信の発見です”  
有限会社  
**フラワーツーリスト**  
永井 要  
〒010-1635 秋田市新屋前野町11-6  
TEL 018-828-5941  
FAX 018-828-7083  
携帯 090-2600-7082

日用品・化粧品卸商社  
流通に生きる  
真心こめて  
**ダイカ株式会社**  
〒010-1633  
秋田市新屋鳥木町1-93  
TEL 018 (828) 0100  
FAX 018 (828) 0500

# 栗田神社の由来

宮司 石沢千秋

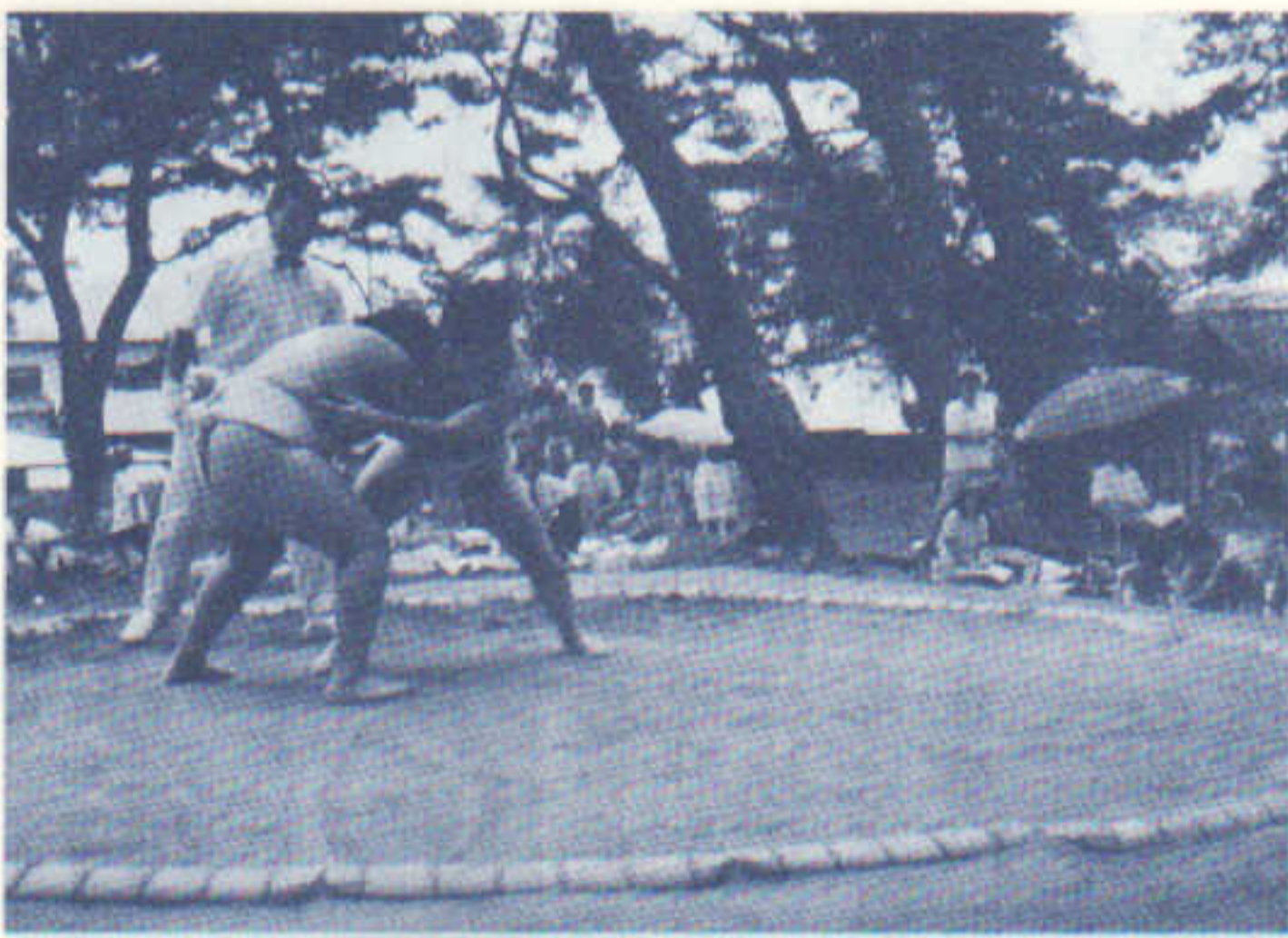
青々とした松の緑が、葉が黄ばみ、茶色に変色し、一年もしないうちに枯れてしまふ、恐ろしい松食い虫の被害が、下浜の海岸線まで迫ってきました。

松が枯れて、崩れ落ちて、そして、何もなくなつて、栗田定之丞が目にしたような、荒涼とした新屋の海岸線になるのでしょうか。

栗田定之丞は今から約二二〇〇年前前に、現在の秋田市の南通亀の丁の高橋勝定という秋田藩士の三男に生まれ、栗田家に養子となり十七歳で定之丞如茂と名乗り、九代藩主義教公に仕え、主に会計に關する仕事につきましたが、病氣のため一時職を退きました。

三〇歳の時に再び仕官し、唐船見御番として、この時初めて新屋に赴任し、秋から春の間の厳しい浜の様子を知つたといわれます。

翌年から、山本郡大内田村の防砂林植栽に取りかかり、十年、次いで新屋村では、約七年の年月をかけて、現在の松林の基となる防砂林を作り上げました。定之丞の没後、新屋町で献身的に協力した佐藤東四郎、大門武平



栗田神社奉納相撲

## 栗田神社祭典の思い出

昔は鳥井前から、大塚商店まで道路の両側に店が出並び、身動き出来ないほどの混雑であったとか「バナナ売り」バナナは大変高価なため、いたんだバナナの皮をとり、くさつたところを包丁でとり、皿に盛って売っていたので「手術屋」と呼ばれていた。



エの二人が割山町に、定之丞の徳を偲んで小祠を建てました。その後、遺愛碑ができ、安政四年には藩に請願して正式な神社として祀られるようになりました。新屋の人達は定之丞の業績に感謝し、毎年お祭りを続けています。七月三十一日、八月一日に行われる栗田神社の祭典は、この地域の夏祭りとして、奉納余興、奉納相撲が親しまれています。草相撲で大人達が真剣に相撲を取つた頃のことを懐かしく話す方もあります。今、定之丞を始めとして新屋の先人達が苦勞して植え、育てた松が、松食い虫の被害で全て無くなるおそれもでてきました。私達は、後世の人達のために、何をすべきか、よく考え、行動しなければならぬ時に巡り合せているのかも知れません。その時に忘れてならない言葉は、定之丞が新屋に残してくれた「公益」に他ならないと思います。

# 浅野梅若さん

## 「日本民謡協会・薦田賞、郷土民謡協会・栄誉賞受賞される」

新屋が誇る民謡会の大御所・浅野梅若さん(九一・梅若流宗家)

野梅若さん(九一・梅若流宗家)に日本民謡協会の薦田(こもた)賞と、日本郷土民謡協会の民謡栄誉賞が贈られました。その喜びの声を伺いました。

●まず、今回、薦田賞と栄誉賞をダブル受賞されました。おめでとうございませう。

過去に、県と市からそれぞれ文化功労賞や日本民謡協会名人位の授与、また勲五等双光旭日章など受けられておられますが、今回の受賞の喜びはどのような感じでおられますか。

「どちらの賞も今回創設されたという事で、ほんとうにうれしく感じております。」

●私たちが新屋町民は、このような偉大な賞を、新屋にお住まいの方が受けられたことに喜びと誇りを感じております。梅若先生は、新屋にお住まいになって何年くらいになりますか。

「かれこれ、五十年くらいになります。」

●梅若会の皆様は、地元新屋の行事でお祭りはもちろんのこと、敬老会や年祝い会などの行事にもご出演してくださいます。町民は、大変感謝しております。町民からも、お願いできますか。

「我々ができることで地元に対して貢献しなければならぬと常々考えております。近くの高齢者施設へも年何回か参っております。今後、ご要望がある限りお答えしたいと思っております。」

●今回の受賞は、卓越した芸と何人も「民謡日本一」を育てた人材育成も評価された結果だと聞いております。梅若先生のところには全国から多くのお弟子さんがいらしているそうです。普段、お弟子さんにはどのような指導を心がけていらっしゃるのですか。

「現在の内弟子は五十人位です。宮崎県から二人預かっておりますが、一緒に生活しておりますので家族の一員のようなものです。昔ほどではないですが時には厳しく指導することも必要だと思えます。」

●孫娘の江里子さん(十八)が活躍されております。楽しみで

すね。

「若いので未熟なところはございますが精進して大成してほしいと思います。」

●近ごろ、日本文化として「民謡」が見直されております。学校教育の一環として民謡や和楽器とのふれあいを授業に取り入れていく学校もあるようです。子供たちに伝統を継承するという事についてどのようにお考えですか。

「県内の高校では部活動として民謡を演奏しているところもあります。私達も年何回か一緒にしております。また、何力所かの小学校では民謡とのふれあいとして呼んでいただきましたが、地元ではまだありません。機会がありましたら是非、地元の小学生、中学生にも生の民謡を聴いてもらいたいと思います。」

●たいへんありがとうございます。



ISO 9001 認証取得  
**FMT** 高白色度を誇る  
 炭酸カルシウム製造  
 株式会社 **ファイマテック**  
 秋田工場  
 代表取締役 片山 正治  
 西部工業団地 秋田市新屋鳥木町1-34  
 TEL 018-828-0171  
 FAX 018-828-0173

**プレハブ建築総合メーカー**  
 組立ハウス・ユニットハウス  
 各種備品、製造・販売リース  
**明和ハウス工業株式会社**  
 代表取締役 打矢 富雄  
 本社工場/秋田市新屋鳥木町1-35  
 TEL 018(828)7100代  
 FAX 018(828)7102

外装全金属パネル 内装用リバーシブルウォール  
**VIVI-TONE**  
**Jet Panel**  
 製造と開発と...  
**DOKO**  
 株式会社 **道光産業**  
 〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-47  
 TEL018-828-8111 FAX018-828-8100  
 E-mail doko@ruby.ocn.ne.jp

そば粉・もち粉製造販売  
**富士製粉産業株式会社**  
 代表取締役 升谷 恵美子  
 〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1番62号  
 TEL018-828-5701  
 FAX018-828-0515

# 新屋地区自主防災協議会

## 活動報告

### 第二回新屋地区

### 自主防災協議会

### 総会開催される

「防災の日」の九月一日、秋田市新屋支所を会場に、第二回新屋地区自主防災協議会総会が開かれました。

当日は、新屋地区の各町内会をはじめ、新屋振興会、秋田市消防団新屋分団、秋田市交通安全協会新屋支部、秋田市中央防犯協会新屋支部などの加入団体代表約三〇

人が出席しました。

はじめに、高橋昌一会長（新屋振興会長）が、新屋地区の人々とともに防災意識を高めあい、自主防災活動を更に充実させよう、とあいさつし、向う一年間の事業計画（案）などの協議に入りました。そして、①総会終了後、昨年に

引き続き防災講演会を開催する②昨年の例により新屋地区の第二回防災訓練を実施する。規模は一五〇人程度とする、ことなどを決めました。

また、新屋地区の自主防災組織の結成状況は一〇組織（県営住宅、十條団地、新屋駅前町、比内町、緑町、中表町、北新町、大川町、日の出町、笹町）で、年内に一組織（沖田町）が結成されることが報告され、各町内会の取組みの成果を確認しあいました。

### 第二回防災講演会

### 有意義に開催される

第二回総会終了後、来賓として臨席した次の方々から講演が行われました。

「自主防災組織のあり方について」  
秋田市防災対策課長 畑山喜久雄

「災害に強い安全な町づくり」

秋田消防署新屋分署長 小林 博美  
この講演の中で、自分たちの安全は自分たちで守るといふ地域の合意が大切、その意味で自主防災組織の意義は大きい、などが強調され、今後の活動の前進を誓い合って散会しました。

### 第二回新屋地区

### 防災訓練悪天候の下

### 実施される

昨年に続く防災訓練は、雨降りと低温の日が連続する中、防火週間第一日の十一月三日午後、西部運動広場で行われました。

今にも雪の降りそうな空の下、秋田消防署新屋分署、秋田市消防団新屋分団の指導により、煙中避難訓練、バケツリレー、消火器による油炎の消火訓練、簡単な救助方法の訓練、消防ポンプの操作体験などを、一三〇余人の参加者が一時間半にわたって、実践しながらの訓練を行いました。貴重な体験でした。講師に立った秋田消防署新屋分署鈴木和範分署長は、地区の防災訓練を高く評価するとともに、一層の防災への協力を訴えました。

### 除排雪問題懇談会

### 開催される

本格的な積雪期を前に、十一月二五日、秋田市新屋支所で除排雪問題懇談会が開かれました。これは、道路の除排雪作業を行うにあたって、地域住民、行政、業者の三者が、連携を密にしてその実を上げることを目的に、新屋振興会が企画したものです。当日は、新屋地区の各町内会長、秋田市（道路維持課）、業者代表が出席し、今冬の除排雪計画について話しあい、万全を期して行くことにしました。新屋振興会安全対策部長 中津川正次郎

## 消防団員募集

あなたの町内・あなたの街・我々の街新屋！  
水害・火災から我々の街新屋を守るのはあなたです。

消防団は、地域住民の生命・財産を水害・火災より守ることを使命とする地域住民の奉仕団体です、あなたも参加しませんか。  
◎法律の定めにより保護され、出動時には公務員となり保障された身分になります。  
◎出動時報酬金も若干ながら支給されます。  
◎被服・装備はすべて貸与されます。

### 年間の主な行事

1月	秋田市消防出初め式	11月1日	秋の防火週間
4月1週目	春の防火週間 (防火宣伝・放水訓練)	12月25~28日	年末特別防火宣伝 ◎団員家族の忘年会やスキー等楽しい行事の計画もしています。
7月	秋田市技能競技会		
8月10日	雄物川花火大会		

入団年齢は18歳から45歳まで

不明な点は下記の問い合わせ先へ連絡下さい、お待ち申し上げます。  
☆尚、入団希望者には後日入団説明会のご案内を致します。

「問い合わせ先」	新屋石油	828-4125
	カドヤ写真館	828-3113
	横山 勝見	828-3527



新屋消防団による操法披露

### (社)日本建築士連合会

### 会長表彰

#### ◆一級建築士

大塚豊三郎(緑町)

秋田県建築士会の設立、発展のために永年に渡り尽力された功勞に対しまして、日本建築士連合会全国大会(五〇周年記念大会)において表彰されました。

### 匠表彰

#### 秋田市優秀技能者

今年度の優秀技能者が発表されました。優秀技能者は二十年以上の経験と各種技能大会入賞など、優れた技能を持つているかたに贈られます。受賞者二十四人中、新屋からは二名の方が表彰を受けました。

◆理容師 阿部 勝(下表町)  
◆防水工 鈴木 兼光(下表町)

### 編集後記

●昔の衆報を読んでいると懐かしく手が止まってしまいます。編集会議もいつの間にか中断してしまい、昔話に花が咲くこともしばしばでした。

●編集にあたり過去の衆報を読みました。まさに新屋の歴史が凝縮されており、地域の情報として大切にしなければなりません。ただ、古いものは傷みが激しく、何とか電子媒体で保存ができませんものかと思いましたが、皆さんの方から、衆報編集について情報やご意見を頂戴いたしました。また、取材や原稿の依頼を快く承諾していただき、本当にありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。

●明けましておめでとうございませう。今年も羊の年、大きく飛躍できるよう皆様のご多幸を祈ってやみません。

# 平成15年度あらかや町の行事予定表

【あらかや祭報編集部編】

【保存版】—— 貼り出してご利用下さい ——

団体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新屋振興会	(1日) あらかや祭報発行 第100号 (11日) 新屋町新年会	(上旬) 理事会 (下旬) 町内会長理事連絡協議会	(上旬) 新屋地区第18回囲碁・将棋大会 (下旬) 役員会議	総会 (上旬) 苗木分け配布作業 (中旬) あらかやさくら公園春季清掃 (下旬) 緑の羽根の配布・観桜会の出店	(中旬) 役員会議	(中旬) 新屋地区定期総会	(上旬) 四部会合同会議 (下旬) 夏期巡回指導	(1日) あらかや祭報発行 第101号 15年度国・県・市に対する要望事項の取りまとめ (下旬) 町内会長理事連絡協議会	(中旬) 町内会長研修会 声かけの実践活動 (中旬) 役員会議	(上旬) 理事会 (下旬) あらかやさくら公園秋季清掃	(下旬) 町内会長理事連絡協議会	(中旬) 町内会長研修会
市民憲章	(中旬) 新年会		(上旬) 「福祉新屋」ふれあい弁当 (下旬) 役員会議					(上旬) 交通安全祈願祭 ・あらかやさくら公園夏季清掃	(上旬) 声かけの実践活動 (中旬) 役員会議	(下旬) あらかやさくら公園秋季清掃	新屋郷土文化講演会	(中旬) 役員会議
新屋福祉協		新屋地区環境浄化と青少年のすこやかな育成を考える会	「福祉新屋」ふれあい弁当	総会	日赤社資・社員増強運動		「福祉新屋」ふれあい弁当	施設訪問	敬老会	一人ぐらし老人と語る集い 赤い羽共同募金運動	「福祉新屋」ふれあい弁当	
新屋体育協	ニューズスポーツ教室 (毎週木曜日3～5回)	毎月・見守りネットワーク事業 (1人暮らし老人巡回)		西部運動広場利用団体調整会議 ・ジュニアスポーツクラブ (2・4土曜日) 毎月開催	総会 ・ニューズスポーツ講習会兼交流大会 ・グラウンドゴルフ大会	春季家庭バレー大会 ・新屋地区野球大会 ・ソフトバレーボール大会 ・西部地区グランドゴルフ大会	壮年ソフトボール大会 ミニテニス大会 全市一斉ラジオ体操のつどい	壮年ソフトボール大会 ミニテニス大会 全市一斉ラジオ体操のつどい	第2日曜日 第36回新屋町民大運動会 秋季家庭バレー大会	夜のソフトバレー大会 ・ニューズスポーツ大会の日 ミニテニス大会	秋季ソフトバレー大会 創立25周年記念事業	
新屋婦人会	健康講話	米料理調理実習	健康料理教室 ふれあい弁当 さすな発行	委員総会 (下旬) 観桜会 出店	日赤募金 (下旬) ふれあい弁当	会員大会 遠足	市婦連運動会参加	花火大会出店 さすな発行	敬老会協力 文化教室	赤い羽根募金 献血運動協力	ふれあい弁当 施設慰問	婦人講座
子ども育成協	(下旬) 冬休みの反省 世話人会 日新小担当先生を入れて	秋田市子ども雪合戦へ参加	役員会	・会計監査 ・役員会 ・世話人会	(上旬) 新屋子ども育成連絡協議会総会	県子連表彰式出席 (会長) ・西部地区 ・市子連総会	(上旬) 役員会	夏休みの反省 世話人会 日新小担当先生を入れて	(9月23日) スポーツフェスタ 日新小学校体育館グラウンド	東北表彰についての推進について 見学会(三役)	東北会参加 表彰式各県廻り 日程未定	秋田市子連表彰について 推進会 (西部地区) 会長会議 (公民館)
祭事・その他				(下旬) 大川端観桜会 (あらかやさくら公園)	25～26日 日吉山王祭 (統前町・比内町)	第2日曜日 鹿嶋まつり (当番町・田尻沢) 1日 (日) 7:00～8:00 ちもさだ海岸 クリーニングアップ	31～8/1 栗田神社祭	10日 雄物川花火大会	28日 (日) 7:00～8:00 ちもさだ海岸 クリーニングアップ			